

かとうせきかいらんぼん 可動堰回覧板

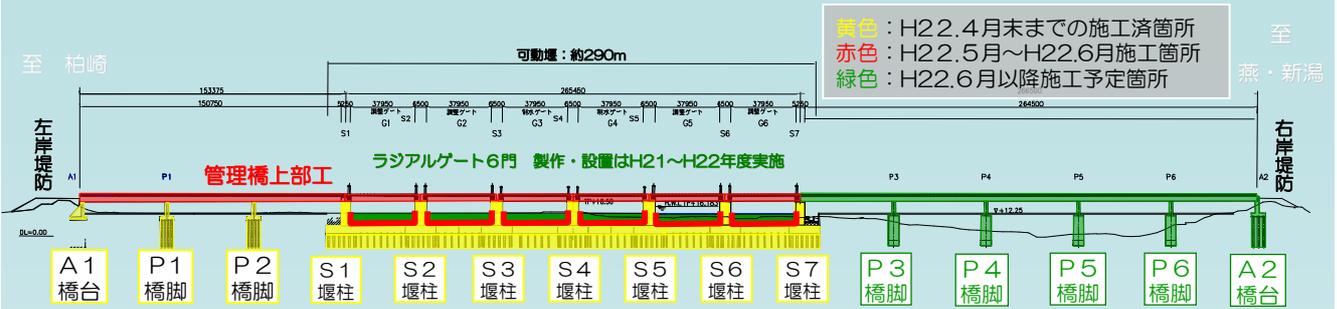
平成22年5月1日号 (No.58)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

現在の可動堰事業の進捗状況等についてお知らせします。

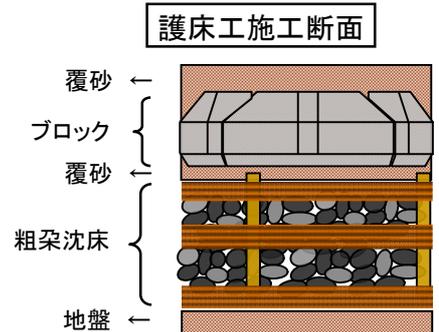
可動堰本体の堰柱が完成しました

可動堰本体工事は、平成21年10月から施工していた2基の堰柱（堰柱S6、S7）について、4月1日に最後のコンクリート打設を行い、これで7基の堰柱が全て完成しました。



河川伝統工法を採用しています

現在、主に6月末までに完成予定の上下流の護床工(ごしょうこう)を施工中です。護床工とは、川の水の流れで水門・堰などの上下流の川底が掘れていくのを防ぐために設置するもので、新河道堰では現可動堰と同じ「粗朶沈床(そだちんしょう)+ブロック」の構造を採用しています。粗朶沈床とは、山に生えている長さ3m、直径2~3cm程度の雑木(粗朶)を束ねて格子状に組み合わせ、中に石を詰めたものを川に沈め、川底が掘れるのを防ぐ河川の伝統工法です。



H19年度~H21年度に可動堰工事で使用された粗朶沈床は、新潟県全体の使用量の約半分を占めています。

若手現場技術者からのメッセージ

～大河津可動堰に携わって～

私はミキサー車を運転して生コンクリートを運搬する仕事をしています。入社して5年目でまだまだ未熟者の私ですが、大河津可動堰という大きな工事現場に携わり色々な事を勉強しています。

生コン会社6社で行った大量打設は冬のとても寒い時期でしたが、朝早くから夜遅くまでの長時間作業で疲れも出てくる中、夜間作業の照明に照らされながら頑張っている多くの人達が仕事をする姿と、少しずつ完成に近づいていく可動堰を見ながらとても誇りを持てる仕事をしているのだと実感しました。

これからも安全に注意し、現場で沢山の勉強をして、誇りを持てる仕事ができるよう頑張っていきたいと思えます。



菊水生コン株式会社
野島 久美子

さくらの植樹について

◇ 大成・東急・岩田地崎特定建設工事共同企業体 ◇

大河津分水は「日本さくら名所100選」に選定されており、4月には堤防沿いに約3000本のソメイヨシノが咲きます。

今回、大成・東急・岩田地崎JVでは、3月20日に燕市のNPO法人分水さくらを守る会（村上謹一理事長）が「万本さくら百年物語推進活動」として実施したさくらの植樹の準備作業に参加させていただきました。

作業は3月16日から19日までの4日間で大河津分水路左岸渡部地区の堤防をはじめとする4箇所計210本分の植樹予定箇所において、人力と機械により苗木の根に丁度よい深さまで掘る作業を行いました。

今回植樹したさくらが数年後大河津分水路の堤防を彩る日を作業員一同楽しみにしています。



掘削状況



現在の右岸五千石地区



左岸渡部地区（掘削完了）



左岸渡部地区（植樹完了）

ごあいさつ

4月1日付けで技術係長でまいりました織田と申します。3月まで国道116号の維持管理を担当しておりましたが、このたび大河津出張所へ異動を仰せつかりました。縁あってか、引き続きこの分水に関わる事ができましたので、今以上に地域の方々に愛されるよう、また、この歴史と伝統ある大河津分水を次の世代へ継承していけるように、微力ながらその役割の一翼を担えればと思います。どうぞ宜しくお願い致します。



大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧頂けます。また、バックナンバーも合わせてご覧頂けます。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>」です。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。

0258-32-3134（平日 AM9:00～PM4:00）

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121（建設監督官在所）

大河津出張所

:大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等

建設監督官（可動堰改築担当）:大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeki/>

信濃川大河津資料館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>